

本誌の編集の仕事をさせていただくようになつてから、ちょうど一年たまし

うのだから、それで良いですよ」というのが、津守先生がその度におっしゃる言葉です。

た。失敗だらけで、ヒヤヒヤのし通しですが、津守先生、本田先生、附属幼稚園の先生方、前任の赤間さん、フレーベル館編集部の方々のおかげで、なんとか毎号無事に出し続けていかれることを、有難いと思っています。

はじめは、この雑誌の編集方針のあたりのユニークさにいささかびっくりしたりのですが、最近は、なるほどと思うようになります。その特徴を一口に言えば「その時、その人が書けることを」という事でしようか。雑誌全体の体裁から考えれば、内容が季節はずれであったり、かたい論文が多すぎたり、適当でないと思ふ場合もありますが、「その時、その人が書けるもの」であることが一番大事

先日読者の方から、「一月号の『子ども学のはじまり』を読んだとき、自分の保育に天地が開けたようで、これでいいんだ、よかつたんだって思った」という要旨のお便りをいただきましたが、書いた方と読む方の一つの出会いがここにありましたのだなあと思いました。書く方もそれぞれの思い、それぞれの立場で書き、読む方もまたそれぞれに読むことでしょ

う。しかし本物の保育を求めつつ書き、本物の保育を求めつつ読む心はお互にどうにかで出合つているような気がします。

## 幼児の教育 第七十五卷第九号

九月号 ◎ 定価二〇〇円

昭和五十一年八月二十五日印刷  
昭和五十一年九月 一日発行

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一  
お茶の水女子大学附属幼稚園内  
（編集兼） 津 守 真

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一  
お茶の水女子大学附属幼稚園内  
（編集兼） 津 守 真

108 東京都港区三田五ノ二二ノ一  
印刷所 図書印刷株式会社  
発行所 日本幼稚園協会

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一  
発売所 株式会社 フレーベル館  
振替口座 東京一九六四〇番

◎ 本誌御購読についての御注文は発売所フレーベル館にお願いいたします

\*万一製品不良本がございましたら、おとりかえいたします。